

# 技能評価システム移転促進事業 (SESPP)

## 事業実施報告書【ベトナム】

担当講師	安原 雅彦氏 (職業能力開発総合大学校) 清野 政文氏 (職業能力開発総合大学校)
実施期間	2024年12月23日(月)～12月27日(金)
実施場所	ベトナム ホーチミン市 ゲエンタットタン大学 (NTTU)
研 修	技能評価技法 (SEM)、技能評価トライアル (SET)
実施職種	シーケンス制御作業 2 級

2025年1月

## 結果概要

1. 対象者数：SEM 受講者 6 名 / 修了者 6 名  
 SET 評価者 6 名 / 受検者 9 名 / 合格者 3 名

### 2. 日程

日時	実施内容
12月23日(月) 8:30~16:30	<b>【技能評価技法 (SEM)】</b> (1) 自己紹介、受講者の進捗状況確認 (2) 研修スケジュール説明 (3) 試験問題概要説明 (学科試験、計画立案等作業試験、製作等作業試験) (4) 学科試験問題の構成 (5) 学科試験問題の作成上のポイント及び解き方 (6) 計画立案等作業試験問題の構成 (7) 計画立案等作業試験問題の作成上のポイント及び解き方 (8) 製作等作業試験問題の構成 (9) 製作等作業試験問題の作成上のポイント及び解き方 (仕様の解説を含む) (10) 動作チェックシートの作成上のポイント
12月24日(火) 8:30-16:30	<b>【技能評価技法 (SEM)】</b> (1) 実技試験採点要領説明 (2) 安全についての考え方 (3) 役割演習
12月25日(水) 8:30-16:30	<b>【技能評価技法 (SEM)】</b> (1) 役割演習 (続き) (2) 実技試験実施方法及び運営上の留意点について (3) 実技試験に必要な機器・機材・備品等について (4) 実技試験会場の設営及び機材の配列 (5) 学科試験会場の設営 (6) 評価者チームの編成と役割分担
12月26日(木) 8:30-16:30	<b>【技能評価トライアル (SET)】</b> 8:30-8:50 開会式 9:00-10:40 学科試験(100分) (受検者:7人) 10:40-11:40 計画立案等作業試験(60分) (受検者:9人) 13:00-15:20 製作等作業試験 (受検者:9人) 15:20-16:30 採点作業 (動作チェック、配線作業、作業態度、作業時間採点等)
12月27日(金) 8:30-16:30	<b>【技能評価トライアル (SET)】</b> (1) 採点作業 (続き) ・ 製作等作業試験の採点作業

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画立案等作業試験の採点作業</li> <li>・ 学科試験の採点作業</li> </ul> <p>(2) 実技試験結果表及び試験結果表作成</p> |
|---|

### 3. 講評

#### <安原講師>

ベトナム ホーチミンにおいてシーケンス制御 2 級の技能評価技法 (SEM)研修で、学科試験、実技試験 (計画立案等作業試験)、実技試験 (製作等作業試験) 問題の構成、解き方、採点要領の解説をして、第 2 回目の技能評価トライアル (SET) を実施しました。今回、初めて参加される評価対象者もおられましたが、この研修に真剣に取り組み、自分の役割を十分に理解して行動することができており、全員問題なくスムーズにトライアルを実施できたと思います。今回のトライアルにおいては、トライアル中のトラブルの対応や製作課題の動作確認での異常時における緊急停止など、安全についての意識が高まったと確信しています。評価対象者が評価者認定を受け、更なるベトナムの発展のために活躍されることを期待しています。

#### <清野講師>

SESPP は Web 会議で打合せ通りに準備して頂き、とても適した環境で実施することができた。会議室 (試験会場)、選手控室、評価者控室と我々が望んだ環境で実施できた。また、3 人のサポーターもとても協力的で既に評価者の資格を持っている事もあり、先を見通したアドバイスを評価者へ与えて頂きとてもスムーズに進めることができた。ただプリンタが準備されておらず、後に準備して頂いたが、必要な時には利用できなかった。更に、評価者研修の受講回数が初回の方々が全体の 2/3 と多く、既受講者への講義とはならず、初回の方への説明が多くなり進捗はスムーズには進められなかった。本来は同じ研修回数経験者への研修であるべきである。

### 4. アンケート結果

#### SEM 【技能評価技法研修】

◆受講者 6 名 (回答者 6 人) (※5 段階評価)

満足度：	5：大変満足＝ 6 人	4：満足＝ 0 人
役立ち度：	5：大変役立つ＝ 6 人	4：役立つ＝ 0 人
継続性：	5：是非継続すべき＝ 6 人	4：継続すべき＝ 0 人

#### 【有意義なプログラムは何だったか？】

- ・ 学科試験問題の作成上のポイント及び解き方。
- ・ 安全についての考え方。
- ・ 実技試験に必要な機器・機材・備品等について。
- ・ 製作等作業試験問題の作成上のポイント及び解き方。
- ・ 実技試験採点要領説明。
- ・ 評価者チームの編成と役割分担。

#### 【改善点・提案】

- ・ このようなプログラムをさらに企画してください。
- ・ 次回の研修にも引き続き参加したい。

- ・ 参加候補者・企業数の拡大。

【意見・感想・実施希望】

- ・ ロボット
- ・ 電気系職種
- ・ 工業電気と家庭用電気
- ・ PLC
- ・ 電気システム設計の専門職。
- ・ スマートマニファクチャリング分野に関連する高度なスキル。

◆現地責任者 1名（回答者 1人）（※5段階評価）

継続性： 5：是非継続すべき＝1人 4：継続すべき＝0人

【改善点・提案】

- ・ 特になし

【意見・感想・実施希望】

- ・ 機械製図（CAD 作業）3級、シーケンス制御2級、機械検査3級、機械検査2級

SET【技能評価トライアル】

◆評価者 6名（回答者 6人）（※5段階評価）

満足度：	5：大変満足＝6人	4：満足＝0人
役立ち度：	5：大変役立つ＝6人	4：役立つ＝0人
能力向上度：	5：大変向上した＝6人	4：向上した＝0人
継続性：	5：是非継続すべき＝6人	4：継続すべき＝0人

【改善点・提案】

- ・ 模擬試験をさらに実施する。
- ・ 次の研修にも引き続き参加する。
- ・ 来年も継続。
- ・ より多くの企業が参加できるように、参加者数を拡大する。

【意見・感想・実施希望】

- ・ ロボット
- ・ PLC
- ・ エレクトロニクス
- ・ ロボット操作
- ・ 電気システム設計の職に就きたい。
- ・ 工業電気と家庭用電気
- ・ さらに高度なスマート製造技術。

◆受検者 9名（回答者 9人）（※5段階評価）

満足度：	5：大変満足＝7人	3：どちらともいえない＝1人	2：満足していない＝1人
役立ち度：	5：大変役立つ＝7人	4：役立つ＝2人	

継続性： 5：是非継続すべき=9人 4：継続すべき=0人

**【改善点・提案】**

- ・ 試験用の練習キットをより慎重に準備する。
- ・ 試験を受ける前にたくさん練習する。
- ・ 練習時間を増やす。
- ・ PLCテストキットは、盤上のスライダ等ねじのゆるみ等を事前にチェックし、適正に設置しておく必要がある。
- ・ ソケットの損傷を避けるために、デバイスをより注意深くチェックする。
- ・ テストを受ける前に機器を確認する。

**【意見・感想・実施希望】**

- ・ Autocad の図面
- ・ オートメーション (2)
- ・ 画面プログラミング

◆ 現地責任者 1名 (回答者 1人) (※5段階評価)

継続性： 5：是非継続すべき=1人

**【改善点・提案】**

- ・ 開催時期は3月～5月、または7月～8月を希望する。また10月～11月は、現時点では企業が参加しやすく、教師や評価者も簡単に参加できる。

**【意見・感想・実施希望】**

- ・ 機械製図 (CAD作業) 3級、シーケンス制御 2級、機械検査 3級、機械検査 2級